

ONE TEAM

津 幡 町 立 津 幡 中 学 校
1 年 学 年 だ よ り 2 4 号
令 和 7 年 3 月 7 日 (金)
津幡中学校長 泉 智一
1 学年主任 上谷 知未

道徳 いつわりのバイオリン

<人間として生きる喜び>



人には誰しも誘惑に負けそうになる、弱い部分がありますが、それに負けない強さや気高さもあります。弱さを克服して、人間としてよりよく生きるヒントを2月の1年2組の道徳の研究授業で考えました。2組の生徒からは、「誇り高く生きる」や、「自分と相手のこれから」のことを考えて行動すればよい」などの意見が活発に出て、よい話し合いができました。

来年度も道徳の授業では、自分を見つめ直し、よりよい生き方について考えていきましょう。

～生徒の「道徳ノート」の記述より～

Q. 弱さを乗り越えるにはどんな心が大切だろう？

- ・常に謙虚に生きる姿勢が大切だと思う。プライドを捨てて謝る勇気も必要だと思った。
- ・うそをつかずに、自分自身を信じて誇り高く生きていく心を大切にすればよい。
- ・他の人と比べるのではなく、前の自分と比べて成長を感じることが大切。
- ・相手への思いやりや自分自身に正直になれることが大切。
- ・弱さを乗り越えるには、努力してくじけない心、だめなことをしたらしっかり謝る心が大切だと思う。
- ・自分のやりたいことに一直線にならずに、今までやってきたこと、これから起こることを考え、平常心を保つことが大切だと思った。
- ・自分にはとても嫌なことでも本当のことを言わないといけない。正直な心が大切だと思う。その時はよくても、いつか必ず本当のことを言わないといけない日がくるから、素直な心が大切だと思う。
- ・自分に正直になる気持ち。うそをつかずに誇り高く生きていく。自分で決めたことは最後まで成し遂げる。
- ・自分で決めたことは最後まであきらめずに成し遂げ、何があっても犯罪や悪いことには手を出さないという強い気持ちが大切だと考える。
- ・今後のことを考えて、相手、自分がどんな気持ちになるかしっかりと考えられる心。

